

『しっかりブー』の 100までぴんぴん物語

vol.2

フチカの建て替えて 100歳まで快適に!

2010年5月7日、M氏は新任の支店長の歓迎パーティーの席で『しっかりブー』に出会った。M氏は(55歳)。大手企業の九州支店の部長だ。

東京本社勤務時代に、「できれば両親と同居して親孝行がしたい」と希望を出していたら、10年前九州支店勤務となり両親と同居している。畑作りをしたいという85歳の父親の希望で、福岡市郊外のA市に畑付きの農家(敷地300坪)を購入した。自働車の修理工場をやりながら自分を育ててくれた両親に『とにかく親孝行がしたい』と思っている。しかし、現在の住居は農家用に作っており、また、築60年以上でかなり傷んでいる。



After



Before



建て替えも
フチカに
おまかせ!

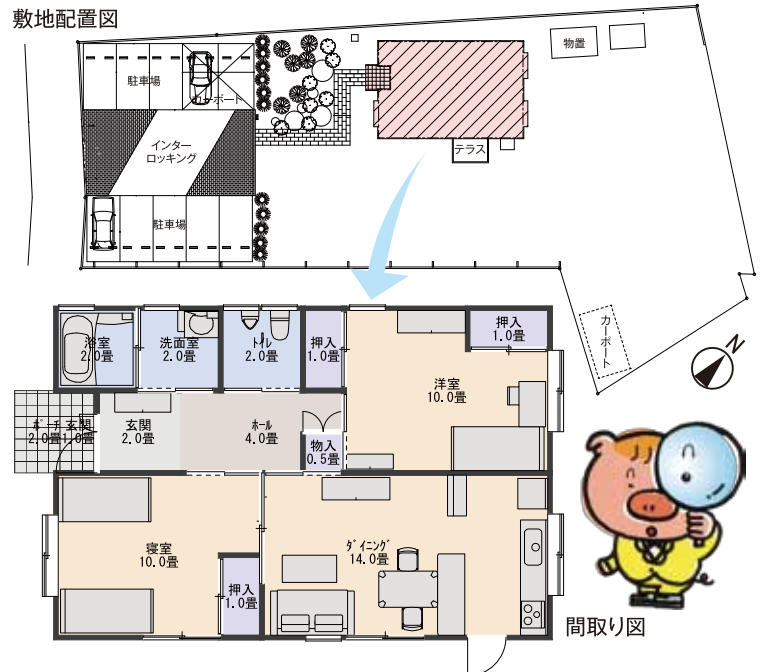
そこで、『しっかりブー』にその話をすると、リフォームだけでなく、家の建て替えもやっていますので、とにかく提案設計をしてみましようという話になった。6月下旬、30坪くらいのプランが数点提出された。自分としては、将来退職後は福岡市内のマンションに移り住みたいと考えているという話を話した。

できるだけ余分な費用はかけずに、両親と3人で快適に暮らせれば良い。

これを受けて、2010年8月、間口4間、奥行6間、延べ床面積24坪の平屋が提案された。南側に両親の居室、続き間でリビング・ダイニングキッチン。昼間、両親がくつろげるようにとの配慮からだ。自分は夜、帰って来て寝るだけだから北側の部屋で良い。そんな折、お母様が体調をこわし入院された。2011年1月15日、新築工事が開始された。4月中旬には竣工し、引っ越して5月の連休は新居でみんなで過ごす予定だ。しかし真に残念な事に3月15日入院中のお母様が他界された。愛妻家だけに、父親のことが心配だ。4月中旬、予定通り新居は竣工した。300坪の広い敷地を将来3つに区分して分譲できるよう、フチカは計画してくれていた。取り敢えず、中央に住居部分、奥の一番広い所はお父様の畑。入口のもう一軒は建築可能な敷地は、草刈りをしなくて良いように舗装して車がゆっくり10台は駐車できる駐車場にした。土地を購入時には不確定だった境界もフチカが紹介してくれた『土地家屋調査士』が境界立ち合いから測量・登記まで全てをやってくれた。お母様の形見などを収納する物置を追加工事で増築する事になり、あと六畳プラスアルファぐらいの家においていても良かったかなと思うがそうすれば間取りが希望通りいかず、これはこれで良かったと思う。今年の夏は、テラスでお父様とビールを飲むのが楽しみなM氏だ。



敷地配置図



間取り図

お見積り・ご相談はもちろん無料! お気軽にお電話ください!